

株式会社ミツバ
2026年3月期 決算補足説明資料
(証券コード：7280)

2026年5月15日 (金)

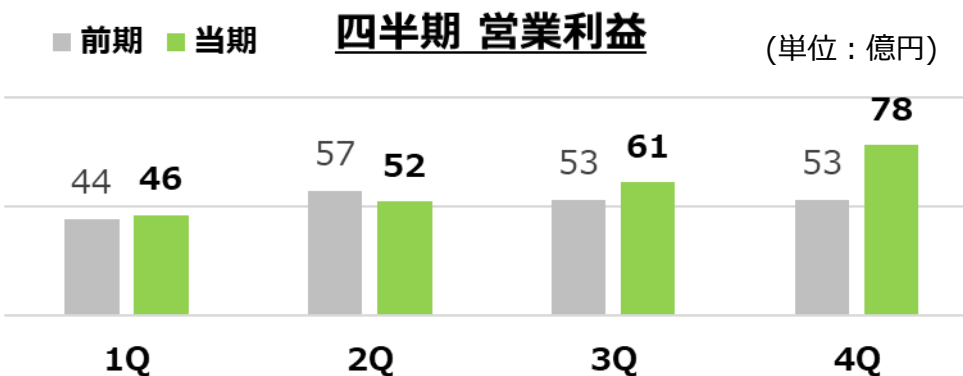
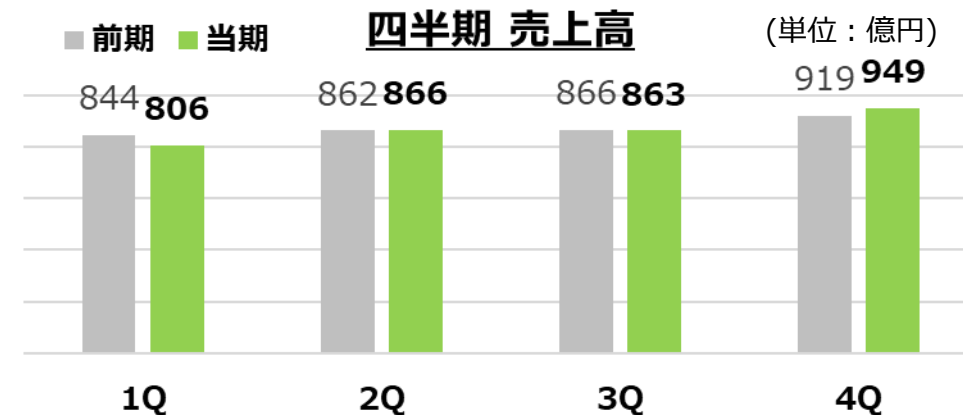
二輪事業・情報サービス事業が堅調であった一方、四輪事業の中国をはじめとした販売減に加え、円高による為替影響もあり減収
営業利益は、二輪事業の増収による押し上げ効果に加え、情報サービス事業の収益拡大、ならびに各種コストセービング施策の効果により、増益を確保

売上高 前期： 3,493億円 当期： 3,485億円 差異： ▲7億円

営業利益 前期： 209億円 当期： 239億円 差異： +29億円

通期トピックス (マーケット環境・当社環境)

- ・ インドやブラジルをはじめとした主要顧客の二輪販売が好調 (前期比+9%)
- ・ 中国エリアを中心に主要顧客の四輪販売が低迷 (前期比▲5%)
- ・ 情報サービス事業が全事業領域において堅調に推移し、増収増益
- ・ 米国関税による影響 (実質的な影響額は▲14億円)
- ・ コストセービング施策による経費削減
- ・ 中国エリア主要顧客での大幅な生産減を受け減損損失を計上 (53億円)



(単位：円)

平均レート	1Q	2Q	3Q	4Q
USD	144.61	147.48	154.16	156.86
EUR	163.86	172.37	179.44	183.68
CNY	19.99	20.61	21.73	22.67

I. 2026年3月期 決算

II. 2027年3月期 業績予想

III. トピックス

IV. Appendix

I. 2026年3月期 決算 (連結業績)

(単位：億円)

	25/3月期	26/3月期	増減額	前年同期比
売上高	3,493	3,485	▲7	99.8%
営業利益	209	239	29	114.2%
営業利益率	6.0%	6.9%	-	+0.9pt
経常利益	197	239	41	121.0%
税引前利益	180	177	▲3	97.9%
当期利益 (※)	118	118	▲0	99.6%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：億円)

(単位：億円)

4～3月平均為替レート

(単位：円)

通貨	25/3月期	26/3月期
USD	152.62	150.68
EUR	163.90	174.69
CNY	21.11	21.23

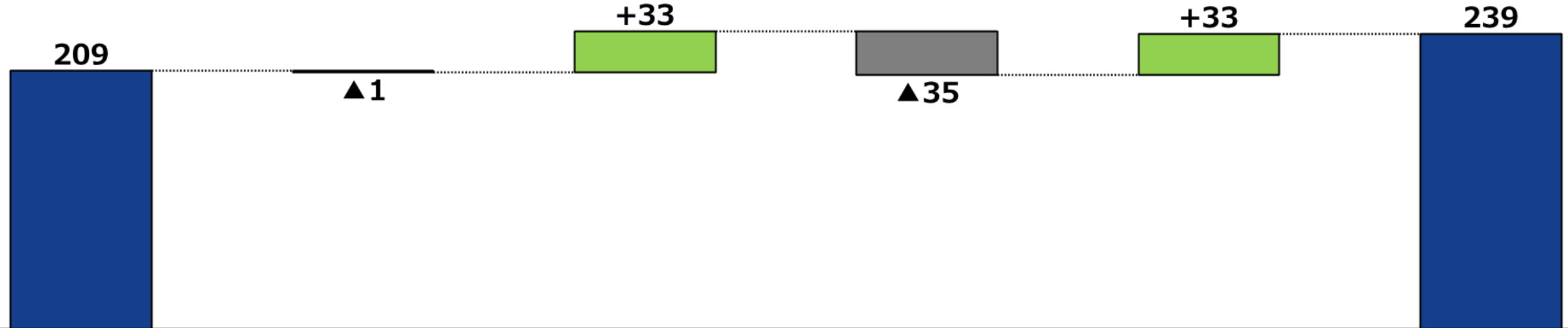
通貨	為替感応度	
	売上高	営業利益
USD	5	1
EUR	1.5	0.5
CNY	33	11

営業外収支 内訳	営業外収益	47
	営業外費用	▲47
経常利益 以下内訳	特別損益	▲62
	法人税等	▲65
	非支配株主に帰属する当期純利益	6

I. 2026年3月期 決算（営業利益増減要因）

営業利益増減要因（前年同期比）

（単位：億円）



25/3月期

為替影響

付加価値

人件費

経費

26/3月期

売上高影響	+17
材料費比率影響	+16

賃金・給与等の増加	▲24
退職給付費用等の増加	▲8

減価償却費の減少	+18
物流費の減少	+10

I. 2026年3月期 決算 (セグメント別業績)

(単位：億円)

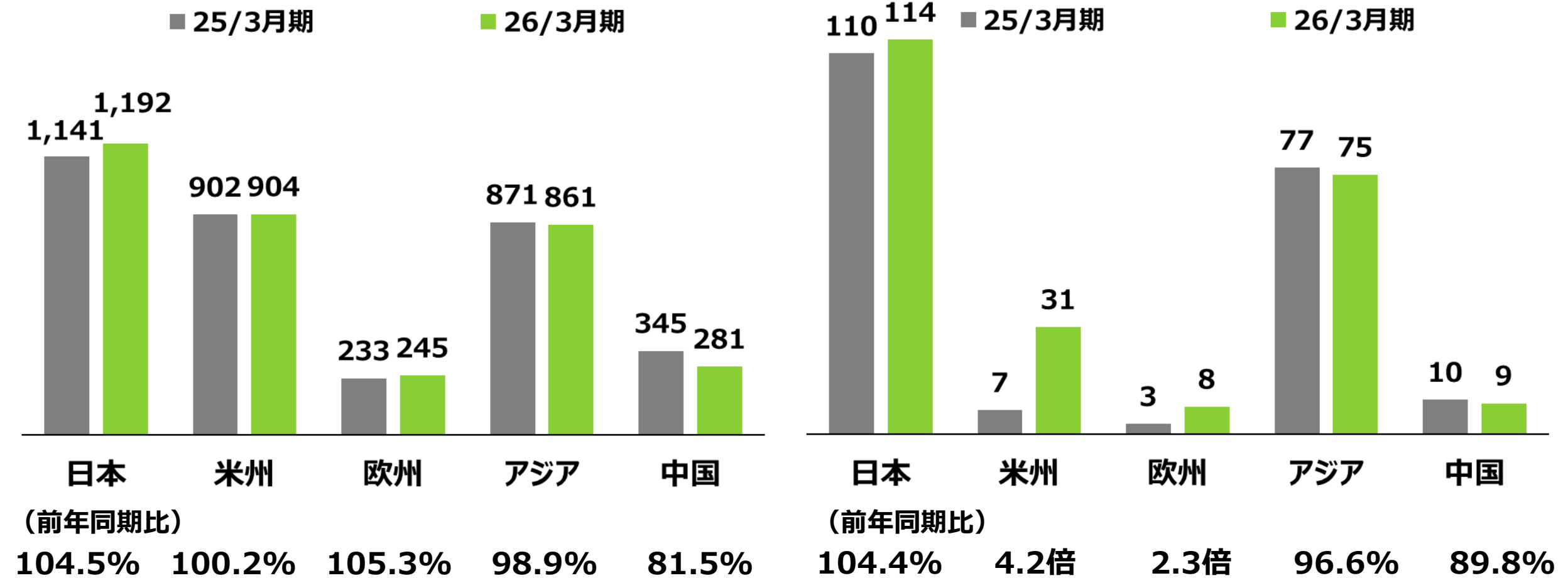
	25年3月期 通期			26年3月期 通期			営業利益 増減額 (B-A)	営業利益 前年同期比 (B/A)
	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	3,228	181	5.6%	3,200	200	6.3%	19	110.6%
情報サービス事業	203	21	10.6%	232	29	12.9%	8	138.3%
その他事業	61	5	9.5%	52	8	15.4%	2	137.1%
合計	3,493	209	6.0%	3,485	239	6.9%	29	114.2%

輸送用機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 中国エリアを中心とした販売減少や賃上げに伴う人件費上昇の影響はあったものの、インドおよびブラジルにおける二輪事業が引き続き好調に推移したほか、各種コストセービング施策の効果により減収ながら増益を確保
情報サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業セグメントおよび社会・産業事業セグメントが堅調に推移し増収増益

I. 2026年3月期 決算 (エリア別業績)

日本エリアは、輸送用機器関連事業および情報サービス事業ともに増収増益
 米州エリアは、米国関税の影響はあるものの、南米での二輪販売の好調により増益
 アジアエリアは、二輪事業は堅調に推移したものの、四輪事業の販売減により横ばい
 中国エリアは、日系自動車メーカーの販売低迷により減収減益

(単位：億円)



I. 2026年3月期 決算（顧客別売上高）

	25年3月期		26年3月期		増減額	前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比		
ホンダ	1,418	42.3%	1,469	43.9%	+51	103.6%
四輪	584	17.4%	586	17.5%	+2	100.3%
二輪	834	24.9%	883	26.4%	+49	105.9%
日産自動車	158	4.7%	153	4.6%	▲5	96.8%
スズキ	103	3.1%	106	3.2%	+3	102.9%
マツダ	102	3.0%	98	2.9%	▲4	96.1%
SUBARU	69	2.1%	59	1.8%	▲10	85.5%
三菱自動車	44	1.3%	42	1.3%	▲2	95.5%
トヨタグループ	35	1.0%	39	1.2%	+4	111.4%
RENAULT	43	1.3%	45	1.3%	+2	104.7%
VWグループ	59	1.8%	24	0.7%	▲35	40.7%
その他OEM	462	13.8%	450	13.4%	▲12	97.4%
TierN	857	25.6%	859	25.7%	+2	100.2%
合計	3,350		3,344		▲6	99.8%

※顧客別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致しておりません

I. 2026年3月期 決算（事業別売上高）

（単位：億円）

	25年3月期		26年3月期		増減額	前年同期比
	売上高	構成比	売上高	構成比		
四輪	1,909	57.0%	1,834	54.9%	▲75	96.1%
二輪	1,045	31.2%	1,104	33.0%	+59	105.6%
電動化ソリューション	396	11.8%	406	12.1%	+10	102.5%
合計	3,350		3,344		▲6	99.8%

※事業別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません

I. 2026年3月期 決算 (連結貸借対照表)

		25年 3月末	26年 3月末	増減額			25年 3月末	26年 3月末	増減額
流動資産	現預金	979	1,035	56	負債	仕入債務	236	262	25
	売掛債権	485	520	35		その他	473	502	28
	棚卸資産	505	570	65		有利子負債(※)	1,515	1,386	▲128
	その他	136	149	12			2,226	2,152	▲74
	流動資産	2,106	2,276	169		株主資本	747	868	121
固定資産	有形固定資産	838	773	▲65		包括利益累計	209	329	119
	無形固定資産	31	26	▲4		自己資本合計	956	1,198	241
	その他	358	410	51		非支配株主持分	151	136	▲15
		固定資産	1,228	1,210	▲18		純資産合計	1,108	1,334
	資産合計	3,335	3,486	151		負債・純資産合計	3,335	3,486	151

為替レート (単位：円)

通貨	25年3月末	26年3月末
USD	149.53	159.93
EUR	162.06	183.49
CNY	20.54	23.12

(※) 借入金 + 社債 (リースは含まない)

指標	25年3月末	26年3月末
自己資本比率	28.7%	34.4%
ネットD/Eレシオ	0.6	0.3

I. 2026年3月期 決算 (連結キャッシュフロー)

		25/3月期	26/3月期	増減額
営業活動 CF	税引前当期純利益	180	177	▲3
	減価償却費	154	134	▲20
	売上債権の増減 (▲は増加)	14	▲4	▲19
	棚卸資産の増減 (▲は増加)	36	▲34	▲70
	仕入債務の増減 (▲は減少)	47	0	▲47
	その他	▲54	12	67
	合計	380	286	▲94
投資活動 CF	固定資産取得による支出	▲88	▲116	▲27
	その他	19	▲0	▲20
	合計	▲68	▲116	▲48
FCF		311	169	▲142
財務活動 CF	借入金の増減 (▲は減少)	▲129	▲135	▲6
	その他	▲210	▲37	172
	合計	▲339	▲172	166
為替換算等		▲15	38	54
現金・現金同等物増減 (▲は減少)		▲43	34	78

I. 2026年3月期 決算

II. 2027年3月期 業績予想

III. トピックス

IV. Appendix

Ⅱ. 2027年3月期 業績予想

中国をはじめとした主要顧客の自動車販売の伸び悩みに加え、中東情勢等を背景とした材料費上昇を織り込み、減収・減益を見込む引き続き価格適正化やコスト低減施策を通じ、収益性の改善に取り組む方針
2027年3月期配当は、当社配当方針に基づき、30円への増配を予定

(単位：億円)

	2026年3月期	2027年3月期			増減額 (B-A)	前年同期比 (B/A)
	通期 (A)	上期	下期	通期 (B)		
売上高	3,485	1,650	1,750	3,400	▲85	97.5%
営業利益	239	80	110	190	▲49	79.5%
営業利益率	6.9%	4.8%	6.3%	5.5%	-	▲1.3pt
経常利益	239	80	105	185	▲54	77.3%
当期利益(※)	118	50	65	115	▲3	97.3%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

為替レート

(単位：円)

通貨	26/3月期	27/3月期
USD	150.68	150.00
EUR	174.69	175.00
CNY	21.23	21.00

【配当予想】

	第2四半期末	期末	合計
2026年3月期	0円00銭	(※)25円00銭	(※)25円00銭
2027年3月期 (予想)	0円00銭	30円00銭	30円00銭

(※) 記念配当5円含む

I. 2026年3月期 決算

II. 2027年3月期 業績予想

III. トピックス

IV. Appendix

「新規ビジネス室」の設立

- 自動車業界以外の成長ビジネスの獲得を目指しその専任部署となる「新規ビジネス室」を設立。
- 輸送用機器分野で培ったモーター・制御技術と情報サービス分野のIT・IoT技術を融合し次世代モビリティや住宅・ビル領域において利便性・快適性・安心を高める価値提供を行う。



次世代移動体用電気式ドアシステムの共同開発契約を締結

- ミツバは、東洋電機製造および泰平電機と次世代移動体用（鉄道・バス・BRT・LRT など）電気式ドアシステムの共同開発契約を締結。
- 本共同開発は、鉄道車両およびバス車両におけるドアシステムの電動化を通じて、安全性および信頼性の向上を図り、次世代移動体への展開を目指す。
- 本取り組みは、当社が2026年4月に新設した「新規ビジネス室」による第一弾のプロジェクトとなる。



3社調印式写真

KGモーターズ株式会社との技術連携強化に向けた出資

- ミツバは「mibot」に適したモーターの設計および評価・試験をKGモーターズとの協業にて推進。
- 現在は初期顧客への納車や法人での実証運用（PoC）へと移行済み。
- 今回の出資を契機として量産・実運用段階で得られるデータを活用しながらさらなる性能の磨き込みを両社で進める。



EV駆動システム



KG モーターズ 小型モビリティロボット「mibot」

I. 2026年3月期 決算

II. 2027年3月期 業績予想

III. トピックス

IV. Appendix

IV. Appendix 2026年3月期 決算 (エリア別業績推移)

(単位：億円)

	25/3月期				26/3月期				前年同四半期 対比 (C/A)	前四半期 対比 (C/B)
	1Q	2Q	3Q	4Q (A)	1Q	2Q	3Q (B)	4Q (C)		
売上高 計	844	862	866	919	806	866	863	949	103.2%	109.9%
日本	244	275	291	330	257	276	303	355	107.5%	117.1%
米州	238	216	202	244	221	239	198	244	99.9%	123.0%
欧州	65	56	51	59	57	57	62	68	114.2%	108.7%
アジア	205	230	222	211	194	220	220	226	106.7%	102.7%
中国	89	84	98	72	76	72	78	54	75.4%	69.9%
営業利益 計	44	57	53	53	46	52	61	78	147.3%	128.0%
日本	20	31	33	24	18	22	29	44	183.1%	151.7%
米州	3	3	▲4	4	5	5	5	15	3.4倍	3.0倍
欧州	4	1	▲1	▲0	0	2	1	3	-	171.9%
アジア	19	19	17	21	18	20	20	15	72.7%	79.2%
中国	▲2	2	7	3	3	1	4	▲0	-	-

※ エリア別の営業利益は、セグメント間取引調整前の金額です

IV. Appendix 2026年3月期 決算 (顧客別売上高推移)

	25年3月期				26年3月期				前年同四半期 対比 (C/A)	前四半期 対比 (C/B)
	1Q	2Q	3Q	4Q(A)	1Q	2Q	3Q(B)	4Q(C)		
ホンダ	336	353	357	372	336	371	365	397	106.7%	108.8%
四輪	148	143	145	148	137	149	144	156	105.4%	108.3%
二輪	188	210	212	224	199	222	221	241	107.6%	109.0%
日産自動車	41	38	40	39	35	37	40	41	105.1%	102.5%
スズキ	27	26	25	24	24	26	28	29	120.8%	103.6%
マツダ	26	25	25	26	21	22	24	31	119.2%	129.2%
SUBARU	21	19	19	20	21	18	9	10	50.0%	111.1%
三菱自動車	10	11	11	12	10	10	10	11	91.7%	110.0%
トヨタグループ	6	9	10	9	9	9	10	11	122.2%	110.0%
RENAULT	10	11	11	11	10	11	12	12	109.1%	100.0%
VWグループ	19	16	13	11	8	6	7	4	36.4%	57.1%
その他OEM	119	113	110	112	103	106	112	129	115.2%	115.2%
TierN	212	215	216	214	210	215	212	221	103.3%	104.2%
合計	827	836	837	850	787	831	830	896	105.4%	108.0%

※顧客別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません

IV. Appendix 2026年3月期 決算 (事業別売上高推移)

(単位：億円)

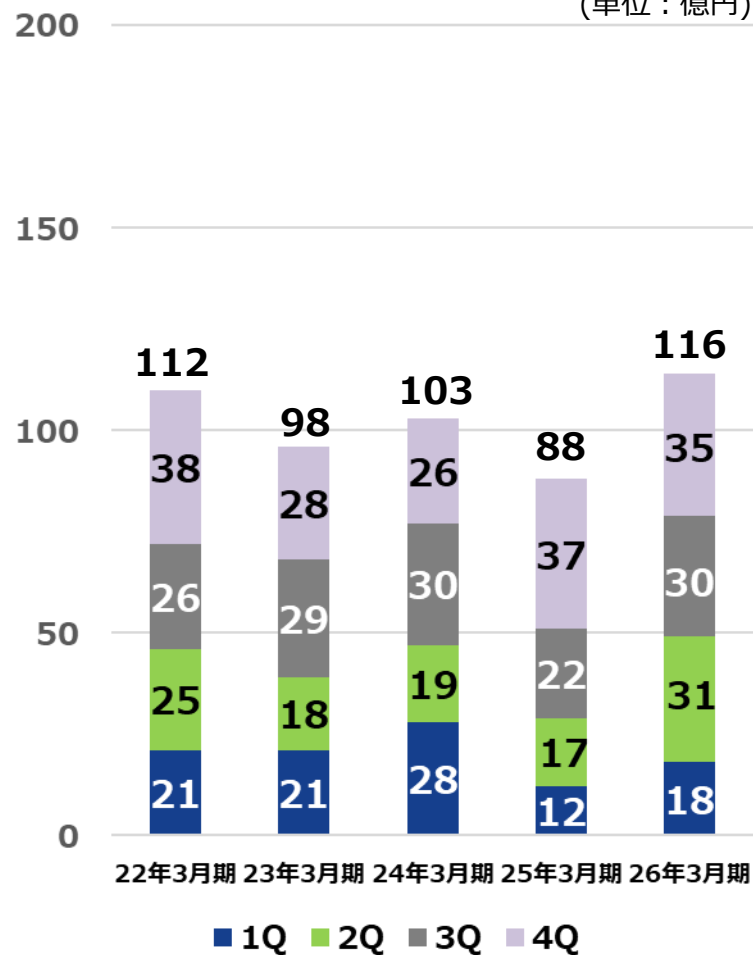
	25年3月期				26年3月期				前年同四半期 対比 (C/A)	前四半期 対比 (C/B)
	1Q	2Q	3Q	4Q (A)	1Q	2Q	3Q (B)	4Q (C)		
四輪	485	476	473	475	438	454	456	486	102.3%	106.6%
二輪	245	263	263	274	252	274	279	298	108.8%	106.8%
電動化ソリューション	97	97	101	101	97	103	95	112	110.9%	117.9%
合計	827	836	837	850	787	831	830	896	105.4%	108.0%

※事業別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません

IV. Appendix 2026年3月期 (設備投資、減価償却費、研究開発費)

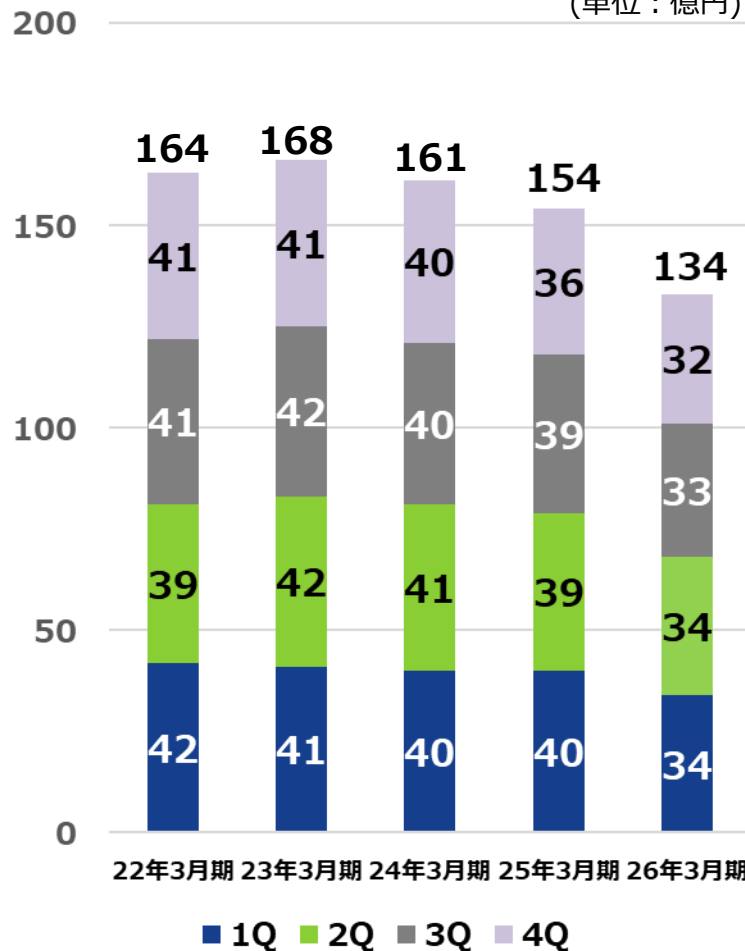
設備投資

(単位：億円)



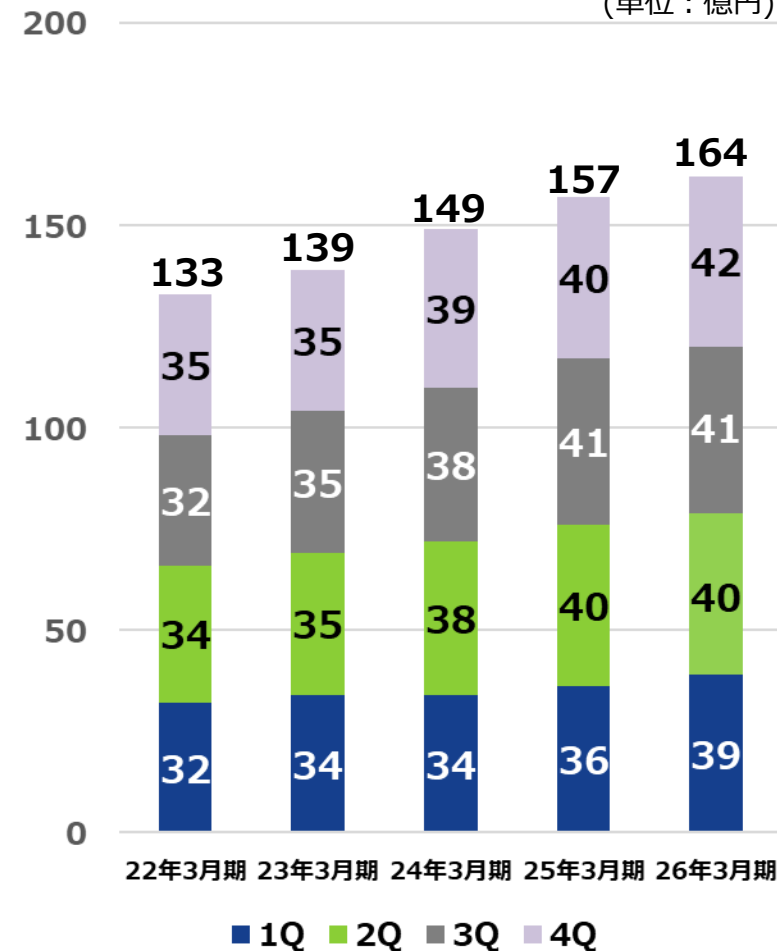
減価償却費

(単位：億円)



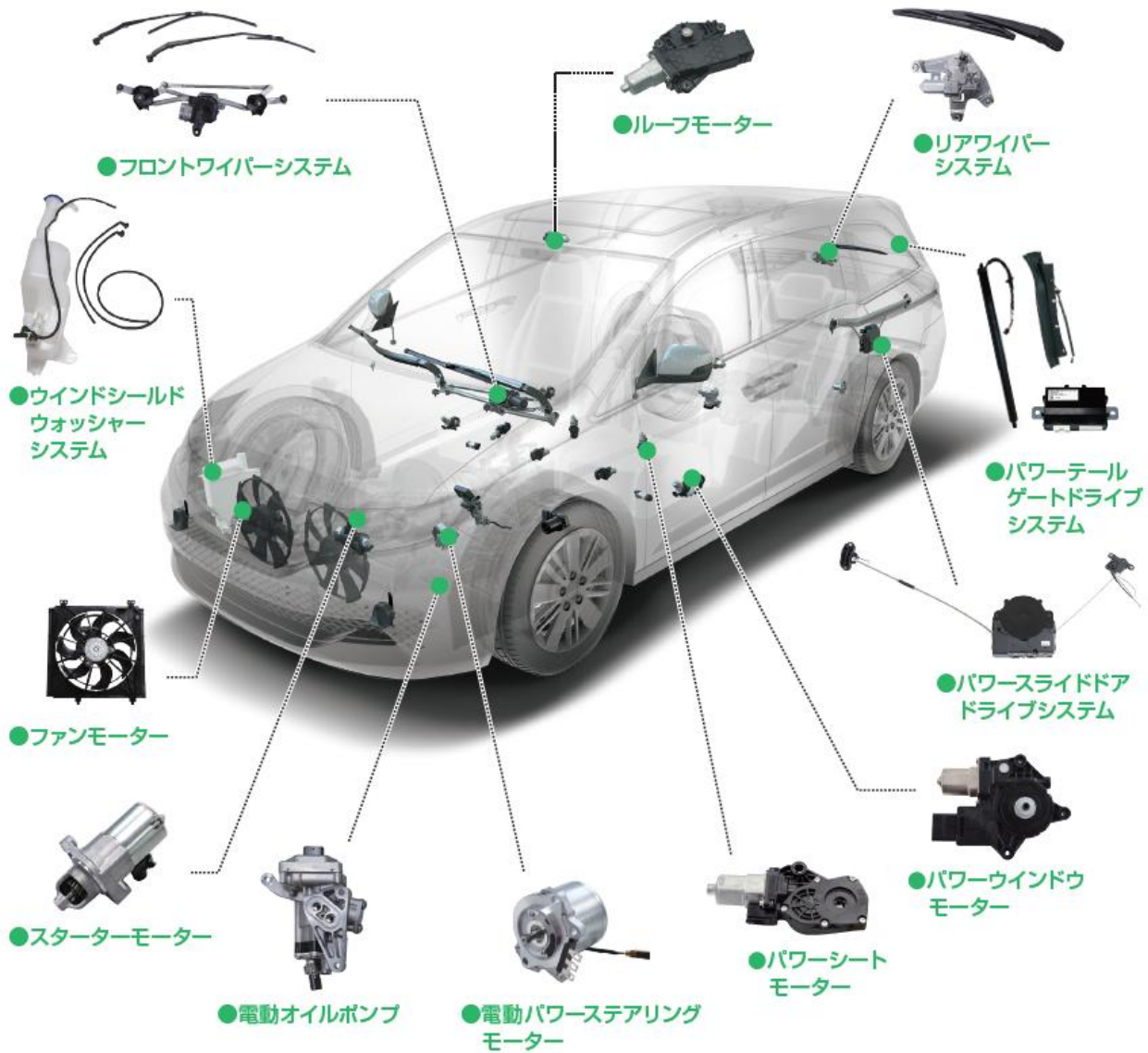
研究開発費

(単位：億円)

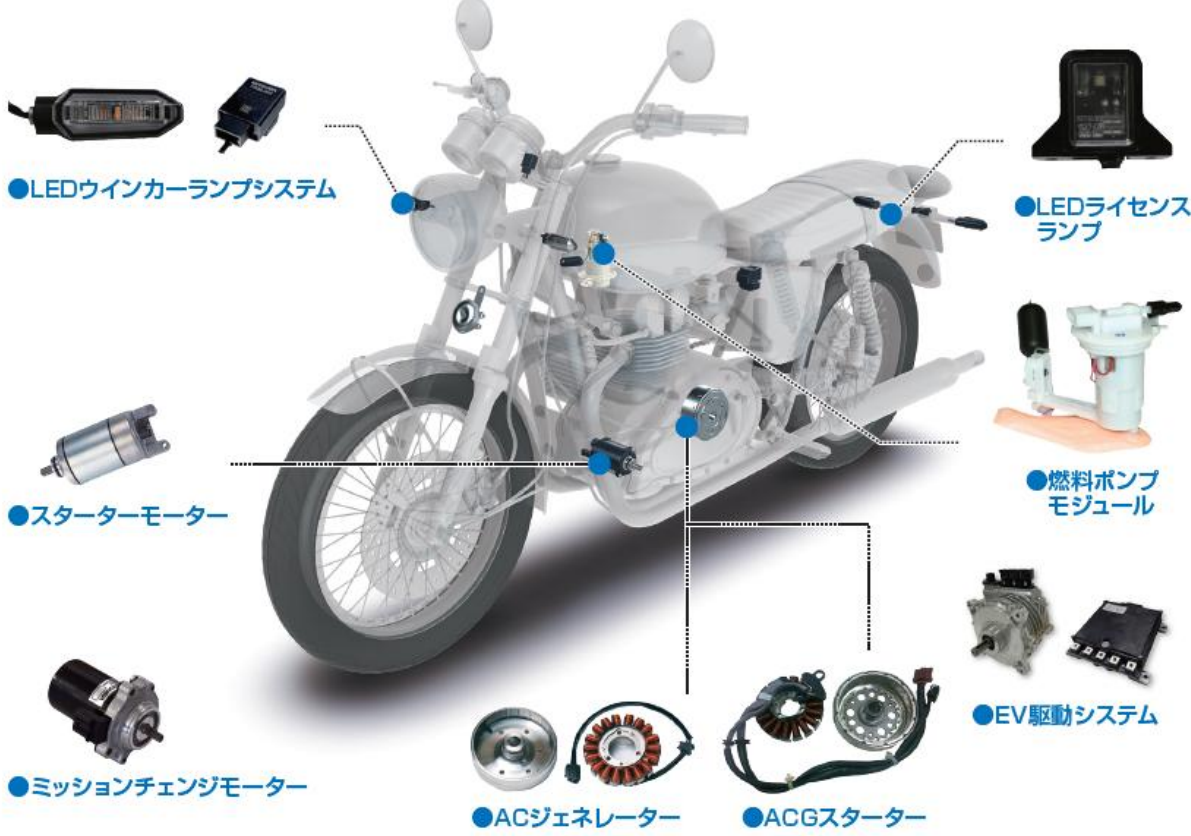


IV. Appendix 製品紹介

四輪電装製品



二輪電装製品



小型モビリティ製品



IV. Appendix バーチャル製品展示特設サイトのご紹介

[バーチャル製品展示ページ | 株式会社ミツバ \(https://www.mitsuba.co.jp/vpep/\)](https://www.mitsuba.co.jp/vpep/)



ご注意

本資料には、当社グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。

そのため、今後、経済情勢や景気動向、法令規制の変化その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と異なる可能性がある事にご留意下さい。

本資料は、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。



~ End of Presentation ~